

◇新湊組僧侶教区会議員補欠選挙当選者報告

去る五月九日、新湊組僧侶教区会議員補欠選挙において、左記の通り当選人が決定いたしました。

氏名 濱野 信宏
所属寺 新湊組 勝光寺

敬称略
以上

◇寺族青年会役員決定

会長	福田慶隆 (五位組 廣濟寺)
副会長	池内将貴 (新湊組 圓徳寺)
事務局長	麻生裕善 (若神組 専龍寺)
会計	初瀬部真亮 (糸岡組 宝性寺)
広報部長	村上昂俊 (糸岡組 順向寺)
	文 (水波組 西養寺)

敬称略

◇第二期同朋運動養成者研修会開催

去る五月二十七日(月) 西本願寺高岡会館において「第三期同朋運動推進者養成研修会」の第一回研修会が開催された。

この研修会は、二〇一二年からそれまで推進されていた「基幹運動」が「御同朋の社会をめざす運動」に改められることとなった際に、運動体制が大きく変更されていく中で、これまでの「基幹運動」の理念を継続、発展させることを目的に、僧侶と門信徒が一体と

なった運動の核となる人材養成を目指し二〇一二年から開催されているもので、今年度で第三期目。全十二回中、出席八回以上で修了書が授与される。

第一回目は「同朋運動に取り組み視座」をテーマに、講師の濱野信宏さん(同朋企画専門委員)に問題提起、

及び班別協議会を受けての助言をいただいた。

濱野さんは運動がなぜ始められなければならないかといったことについて、社会だけでなく同朋教団であるはずの教団内にも差別の現実があるとし、つい先日政治家による被差別部落に対する露骨な差別発言があったことを挙げられ、差別が現実にある中で「寝た子を起こすな」という考え方は完全な間違いであると指摘された。その上で、比叡山を飛び出して、当時の虐げられた人々の側に立ったのが親鸞聖人であるとし、同朋運動は親鸞聖人の教えを仰ぐ同朋教団として必然の歩みであったと提言された。



◆第五十三回射水組仏教婦人会連盟並びに尼講総会開催

盛夏並みの暑さが続く中、此処誓光寺様の本堂は、別世界のように誠に涼しげな空間でした。

五十三回目の射水組仏教会連盟と尼講の総会が五月二十六日に執り行われ、高岡教務所長西岡孝了様、教区連盟委員長元井和代様、教区連盟事務担当の金山教夫様のご臨席を賜り、ご祝辞・励ましをいただき、会に花を添えてくださいました。五十回を越す重み、先輩方の足跡がぐっと迫り、繋いで行く責任を感じる場所であることを実感いたしました。

総会は、音楽法要。午後からの物故者追悼法要は、組内ご住職様方による読経で、その声は本堂に響きました。記念講演は、富山大学名誉教授宗孝文氏による「親鸞聖人の他力について」を拝聴。聖人が絶対他力と念仏に目覚めさせていただいた曇鸞大師の言葉を正信偈より引用して説明し、また、ソクラテスと釈迦が同



じ世代の生まれで、共に生きている存在に意味がある事を述べられていたことも力説。私が生まれたこと、苦悩があるから生きる意味があることをお話しされ、生きることを俯瞰的に考える時間であったように思います。

水戸田仏教婦人会 堀 直子

▽教区報五月号記事訂正のお知らせとお詫び

前号の「御同朋の社会をめざす運動のコナー」において左記の通り、誤りがありましたので、訂正させていただきますとともに、お詫び申し上げます。

下段十一行目 誤…その名残として神道催事は今も続いています
正…その名残としての神道祭事は今も続いています

下段十三行目 誤…真諦を「仏法」、俗諦を「末法」と転用した
正…真諦を「仏法」、俗諦を「王法」と転用した

西本願寺高岡会館 永代経法要のご案内

下記の通り高岡会館の永代経を勤めます。お誘いあわせてお参りください。

日時：7月19日（金）
日中—午前10時
逮夜—午後1時半

法話：高岡教区布教団布教大会

日中； 梅本洪道氏
 (氷見西組西教寺)
 伯水永雄氏
 (氷見西組明泉寺)
逮夜； 安達秀憲氏
 (川上組空泉寺)
 村上昂文氏
 (水波組西養寺)

※お昼にお斎（お弁当）を準備しております。午前・午後あわせてお参りください。

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

「高岡教区『御同朋の社会をめざす運動』委員会委員研修会報告」

去る五月二十日、西本願寺高岡会館において高岡教区「御同朋の社会をめざす運動」委員会委員研修会が開催されました。今回は、『増補改訂本願寺史』に学ぶ」と題し、講師の神戸修さん（同和教育振興会運営委員）にご講義いただきました。

『増補改訂本願寺史』は改訂にあたって、旧版に対する「本願寺と被差別部落との関係を示す資料を用いながらも教団における被差別部落寺院の位置づけがなされていない」との批判に基づき、被差別部落及び寺院と教団がどのような関わりがあったのか、新たに発見された資料や研究成果をもとに、近世本願寺史における差別の実態を明らかにしたものとなっています。

神戸さんのお話の中で、被差別部落のほとんどが真宗門徒であり、教団が御同朋・御同行をうたいながらも、被差別部落の僧侶や門信徒に対して差別をしてきた歴史的事実について述べられ、その具体的な事例として、部落寺院を一覧表とした「穢寺帳」を作成し、それらの寺院や門信徒には五割増しの冥加金（賦課金）を課していたことなど教団内に差別制度が実在していたことを資料に基づいて説明され、「差別制度はなぜ存在するのか。それは金銭的な利益のためである」と指摘されました。

明治になってからいわゆる「解放令」が出され、身分制度や賤民身分は撤廃されましたが、それは人道上の理由からではなく、階級制度が存在したままでは不平等条約の改正に不利になることと、資金難にあえぐ明治政府が課税対象外であった被差別部落の住民に対して課税するためであったと、旧来の差別制度撤廃に関しても金銭的な利益な理由が背景にあり、教団においても制度的なものこそ無くなったものの、差別の実態や差別意識は変わらなかったことを挙げられました。

また、「解放令」以降、被差別部落の人たちの権利意識が向上するも、教団内の差別は以前とほとんど変わらなかったために、抗議運動がはじまり、それが水平社の設立につながったことを挙げられ「教団の差別の中で自らの力で立ち上がらなければならなかった。それが運動の原点であった。水平社が設立されて最初にしたことは、東西両本願寺に対する差別への抗議と、水

平社の差別克服のため活動に対する協力要請であった」と述べられました。しかしそれに対する教団の回答は『理解はするが、教団は教団で取り組みをしていく』という消極的なものであり、さらには後日になって『差別は自然の成り行きであり、それを無理に正そうとすることは社会の秩序を乱す悪平等である』とする文書を発布するという対応であった、と当時の教団の差別問題に対する見解や姿勢には大きな問題があったことについてお話しいただきました。

その上で「ナチスとの戦いは忘却との戦いである」「人は忘れたいことを忘れていく」「学んだことの証は変わる」という言葉を紹介され、歴史的事実から学ぶことの重要性和、事実がありながらそれを無視する・学ばないということは差別に加担してしまう、だからこそ学び続けなければならぬと、助言されました。

今回の講義の中で、明治天皇の行幸の際に目障りであるという理由によって、被差別部落の住民が警官隊によって強制退去させられ、警官の放火によって住宅が焼き払われるというのが浜事件の説明があり、その事件に対する当時の報道は、抗議する住民を「貧民部落の住民は激昂し、告訴すると騒ぐ」とし、警察官の行動に対しても、「居住権を持つている人の家まで焼いてしまった不手際」という扱いであったという話を紹介されましたが、特に重ねて指摘されたのは、これは形を変えて現在でも存在する問題であるということです。

その例として大阪府のあいりん地区での日雇い労働者を主とした抗議デモは「暴動」と報道されていることを挙げられました。今まで同地区で「暴動」とされるものは何度も起こっていますが、一例として飲食店店員からの差別的言動に抗議した労働者に対し、対応にあたった警察官が労働者に自分たちに非があるように認めるように迫り、それを拒否されると取調室で殴る・首を絞めるなど暴行を働いたことが発端となった当然の抗議デモさえ「暴動」と報道されています。まさに現代でも的が浜事件と同じことが繰り返されていると言えるでしょう。

宗祖である親鸞聖人は虐げられた人々の側に立った方でした。その教えをいただく私たちはこのような差別の現実をどう受け止めるのか。そのことが問われ続けているように思います。

◇これからの日程（6/14～7/25）◇

6月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座	ブロック講社役員会 ブロック組長会打合せ (福井)
18		北陸藤の会総会
20		総代会監査・常任幹事会 子ども・若者ご縁づくり 委員会
21	聖典セミナー	仏婦・寺女合同執行部会
22		若女性部会総会
23		ふるこはんフェス委員 会
24	財団評議員会	同朋養成研修会
25		講社役員会
26	教区常任委員会	長寿苑ビハーラ活動
27	臨時教区会	
29		保育研修会
7月		
2		高寿会総会
4		非戦・平和学習会 寺院女性会研修会
5		ビハーラ研修会
6		仏教壮年会セミナー
9	組・所属組織実践研プレ研	
13		仏婦真宗入門講座
14	常例法座	
17	宗務懇話会	
19	会館永代経	
25		仏婦組織教化委員会

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送 (KNB)・73.8kHz.

◎毎週土曜日 (本山制作) 午前 6:15～6:25
□第2・4日曜日 (富山・高岡制作) 午前 6:00～6:10

◎6/22 (土): 美馬 裕美氏

(本願寺派布教使・滋賀県純正寺衆徒)

「温かみのあるアート」

□6/23 (日): 池内瑞雄氏

(高岡教区新湊組円徳寺)

◎6/29 (土): 石崎博紘氏

(本願寺派布教使・大阪府大円寺衆徒)

「念仏者という生き方」

◎7/6 (土): 石崎博紘氏

(本願寺派布教使・大阪府大円寺衆徒)

「私の居場所と私の進む方向」

◎7/13 (土): 石崎博紘氏

(本願寺派布教使・大阪府大円寺衆徒)

「自由に使える本堂を目指して」

□7/14 (日): 未 定

(富山教区)

◎7/22 (土): 石崎博紘氏

(本願寺派布教使・大阪府大円寺衆徒)

「震災支援を続けて」

☆お知らせ☆

「法輪せんべい」販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょう。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱 (170袋) 8,300円

・1組 (10袋) 500円

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内

(寺族青年会担当)

Tel. (050) 5587-7708(代表)

Fax. (0766) 21-5152

【西本願寺高岡会館7月の常例法座】

ご講師: 小川真理子氏

(岐阜教区)

ご講題: 『ここにはたらく浄土』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。